

# 「ふるさと」 探究育英

2年V.R  
TIMES

創刊号

27年6月30日発行

編集：「地域探究」—  
「新聞の情報発信力と  
地域の発展」グループ  
(松浦みのり・中原繭・  
西村真央・山根里菜・  
井上愛香)



写真は「由良お台場」

創刊の言葉

この新聞を発行するにあたって、班長として創刊のメッセージをまとめました。この新聞を通し、北栄町の魅力が伝えることが出来るように、メンバー全員で頑張りたい。(松浦)

## 平井知事の「鳥取」を聞いて

鳥取中央育英高校で、「地域探究」の一環として、平井鳥取県知事が全校生徒に向けて講演をされた。生徒は、「鳥取県に対しての考えが変わった。有意義な時間を過ごす事が出来た」と述べていた。全校生徒の感想文から2年生のものを選んだ。

「人口の少なさ」を誇りに  
(2年女子)

「あいサポート運動」「手話言語条例」など、実は全国から注目されているものが鳥取県にはたくさんあることを知りました。確かに人口も企業も少ないですが、その中でも「子育てのしやすい県」や「保育園の無償化」「森の保育園」「田舎エンターテインメントプロジェクト」「築き会」など、都会を中心とした移住者に向けた取り組みがあり、他県や海外から注目を浴び、移住者が増えているのを知り、少しずつ鳥取県が活性化していることを改めて実感しました。

また、地元で暮らしているからこそ知っている魅力や、逆に住んで当たり前になってしまい感動が薄れたり、知られていない魅力を見つけ、もっと全国にPRしていきたいと思いました。

最後に私の中で平井知事が言っておられた「人口が少ないということは一人一人と深いコミュニケーションをとれるということ」という言葉がとても印象に残りました。今まで悪いことにしか考えていなかった「人口の少なさ」に今後は誇りを持ちたいと思います。

### ぐる北栄 一番行ってみたい所。 その理由

「レークサイド大栄」  
西村真央

北栄町にある唯一の大きい公園だからです。

広い芝生で、ソリが出来たり、グランドゴルフやたくさんの遊具で遊ぶ事が出来たり、美味しいアイス、焼肉を食べる事が出来て子供から大人まで楽しめる場所だと思います。

そんな魅力を「地域探究」でみつけて、もっと北栄町を好きになりたいです。

## 初！知事、育英生にアツく語る

5月11日の午後本校で講演会がありました。

2年生の事業には地域の事について知る「地域探究」という授業があり、鳥取県代表

として活躍されている平井知事のお話を聞きました。その中で知事さんは、「自然豊かで住みやすい所」と、鳥取県の良さを強調されました。(中)

### ふるさとの魅力を！

(2年女子)

講演を聞く前、「どうせ60分間人口減少とか若者がどうのこうのって説教されるんだろうな」と、正直あまり期待していませんでした。でも私にとっても身近な話題であるコナンの話から始まり、一気に知事の話される言葉に引き込まれました。

その中で印象的だった言葉は、「思いっきり己に克つ大きな事に挑戦しよう」「興味を持ったことに手をつっこもう」という言葉でした。何となく、平井知事が積極的で、私達若い人達が消極的なのはおかしいと思いました。鳥取県は何も無いからと何も行動せず、東京や都会の方へ流れてしまうのもおかしいと思いました。「無い方が魅力的」地域探究の時間では、都会には無くて北栄町にある魅力を見つけて、それを多くの人に知ってもらう方法を考えたいです。

「青山剛昌ふるさと館」  
井上愛香

アニメ放送されている、名探偵コナンが好きだからです。元は、「怪盗キッド」をアニメで観て以来です。

県外の友達にも、「怪盗キッド」や「名探偵コナン」が好きだという人は沢山いて、せっかく「ふるさと館」があるので、まずは自分が良く知って、色々な人に伝えて、鳥取県に興味を持って来てもらえるような機会が増えたいと思います。



「青山剛昌ふるさと館」  
山根里菜

県外から観光客が沢山来ているのに、地元に住んでいる私は一度も行ったことがないからです。以前から、大阪や徳島のナンバーの車が停まっているのを見て、興味を持っていました。

「ふるさと館」に行って、どんな魅力があるのか知りたいのです。なぜ、世界中で「コナン」が読ま

れているのか調べてみたいと思いました。「ふるさと館」へ行って、いい新聞を書きたいと思っています。

「レークサイド大栄」  
中原繭

子供の頃に遊びに行って、楽しい思い出があります。遊具の中に長い滑り台があって、その滑り台で遊ぶのが好きでした。

滑り台はとても長くて、階段の上まで昇るのが大変でした。でも、滑ってみると楽しいので、何度も滑りたくなりました。この滑り台、どうやって作られたのかなどを知りたい。

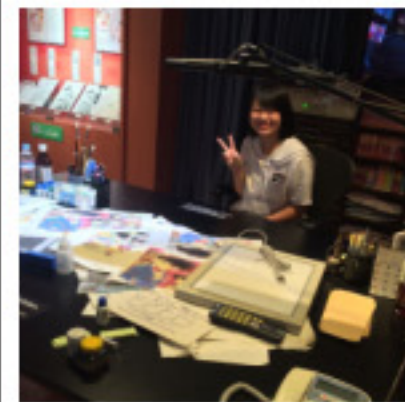
他にも魅力がある所があるので、この時間を通して実際に行っているいろんな事を発見してみたいです。

新聞作りのために、  
試しのフィールドワーク

6月23日(火)、私たち5人は最初のフィールドワークとして「青山剛昌ふるさと館」に行きました。大栄スイカ選果場に行く予定でしたが、午後の作業は休みということで変更したのです。

見学していると、インドネシアから15名が来てとても驚きました。マンガ「コナン」が世界中で愛されているのだとすごく嬉しく思いました。

由良育英時代の青山さんの写真も見たり、マンガ制作現場を再現した所を見たりして、2時40分頃見学を終えました。(松浦)



▲ 青山さんの作業デスクに向かっ

た。そして、「ふるさと館」は、日本語・英語・中国語・韓国語の4ヶ国語に対応し

ている事です。それを知って、改めて青山剛昌さんのコナンは、凄いなと感じました。地元の知識が増えて良かったです。

### 「由良お台場」

松浦みのり

私がお台場に行ってみた理由は、歴史のある場所だと聞いたからです。

しかし具体的なことは何も知らないのです。そこにある大砲が、「何に使われていたか。いつ使われていたか」など、知りたいと考えたからです。また、これからのように活かしていけるのかも考えたいと思っています。

「青山剛昌ふるさと館」  
行つてきました